

AOI Partners NEWS LETTER

2020年の上半期は、企業経営においてもコロナ問題への対応に明け暮れた期間となってしまいました。その中で、これまで予定していたこと、当たり前に行っていたことを根底から見直す機会ともなりました。

「ウィズコロナ」「アフターコロナ」などと世間では言われていますが、確かにコロナ前に完全に戻ることはなく、変化、新しい価値観を受け入れながら経営活動を行っていく必要があると強く感じます。

一方で、今こそ「原理原則」に立ち返り、経営理念、戦略戦術を足元から見直す契機にしたいと考えています。弊社は名古屋事務所を移転いたしました。心機一転、お客様のサポートにより一層務めたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。（花田一也）

社長こそ勉強すべき。社長教育（自分教育）が一番大事。

この未曾有の大変な状況の中、どうしたら会社を潰さずにやっていけるのか、悶々と考えています。売上げを拡大すること、利益を出すこと、社員教育をすること？

そうすれば会社は良くなるのでしょうか。そんなことの前には**いちばん大事なのは社長が勉強すること**だと思います。社員教育する前に自分を教育するべきです。



中小企業の命運は社長が握っているからです。

どんなに優秀な社員がたくさんいても、社長がだめなら終わりです。

だから、社長は自分の会社の数字を見て勉強してください。

自社の商品はなにか、将来はどんな商品を作り売っていくのか、

試算表の数値はどこを目指すのか、考えて考えぬき、勉強してください。

お客様、社員とその家族、自分の生活を守るため、勉強する必要があると思います。

損益計算書（PL）は社員が作るが、貸借対照表（BS）は社長が作る。と言われます。

貸借対照表には社長の考えや生き様が出ます。

社員が頑張っって素晴らしい売上げを計上してきても、社長がその回収した資金を無駄な冗費に使い、回収できない投資に使い、なくしてしまったら、損益計算書は良くて

貸借対照表（BS）はガタガタになります。

利益から納税した残りが、会社を強くするキャッシュです。

キャッシュがあればピンチを乗り越え、新たなる商品開発へ、人材開発へ、

未来の売上げを生むものへ、投資ができるのです。

法人税（所得税）を払わなければ会社は強くなりません。

目先の節税をすすめる三流税理士やコンサルに乗せられてはいけないのです。

キャッシュがなくなります。

また、経営者の方々のお言葉には私どもも常に学ばされております。

毎月、PLだけでなく純資産の数字を確認する社長、KPI指標を毎月確認し、

行動を訂正する社長（何をしたら会社が良くなるのか、指標を分析し、実行し、

数字を追っている社長）、仕事終了後資格の勉強をしている社長、

24時間自社と社員のことを考えている社長、今は正念場です。

どうすれば自分の会社が強くなるか、自分へ投資して勉強しましょう！！

会社の数字については弊社にお尋ねください！！

（花田直子）